

みんなで21世紀の未来をひらく 教育のつどい

教育研究
全国集会

2025 in 埼玉

2025年8月
17日(日)
18日(月)
19日(火)

憲法と子どもの権利条約がいきで輝く教育と社会を確立しよう
平和を守り真実をつらぬく民主教育の確立／教え子を再び戦場に送るな

埼玉県公立中学校2年生

「私はカレンダー作りで雪だるまを作りました。雪だるまの作品を作るのは、すごく大変でした。版画で作ったので、すごくむずかしかったです。でも楽しんで作ることができました。」



開会全体集会

8月17日(日) 13:00～15:30

講演

埼玉県さいたま市内

安田菜津紀さん

オンライン無料配信

認定NPO法人Dialogue for People フォトジャーナリスト。同団体の副代表。東南アジア、中東、アフリカ、日本国内で難民や貧困、災害の取材を進める。



難民の声、
家族の歴史から考えた
「共に生きるとは何か」

「シリアでは昨年まで過酷な弾圧や戦争が続く、パレスチナ・ガザ地区ではイスラエルによる侵襲で多くの人々が犠牲になってきました。こうして世界では故郷を追われる人が後を絶ちません。日本国内に暮らす多様な人々の中にも、命の危険から逃れ、難民とならざるをえなかった人々がいますが、難民認定の壁に突き当たっています。また、様々なルーツを持つ人々へのヘイトスピーチ、ヘイトクライムの問題も根深く残っています。この社会で「共に生きるとは何か」ということを、国内外で出会った人々の声、そして家族の歩んできた歴史も交えて考えていきます」

現地企画

いのちと平和と子どもたち

合唱構成「ぞうれっしゃがやってきた」

川口ぞうれっしゃ合唱団

昭和の初め、街々をめぐる「木下サーカス」にはアドン・エルド・マカニー・キーコと名付けられた4頭の象さんたちがいました。どの街へ行っても大人気!!でも戦争が始まり、旅回りのサーカス団よりも、動物園の方が平和に暮らせるだろうと、4頭とも名古屋の東山動物園に譲られることになりました。しかし戦争は日に日に激しくなっていく、悲しい事もたくさん起こりました。そして...

☆川口ぞうれっしゃ合唱団は1990年、実話から生まれたこの歌を歌うために誕生しました。大切にしたい「いのちと平和と子どもたち」をタイトルに掲げ、時代を超え、世代を繋ぎ平和への想いを届けます。

オンライン視聴
できます!



開会全体集会是YouTube配信(無料)します。以下のURL又は左のQRコードで視聴できます。

教育フォーラム

8月17日(日) 17:00～19:30

(6つのフォーラム・さいたま市内各所)

参加券購入で
オンライン参加できます

詳細はこちら



分科会

8月18日(月) 10:00～17:30

8月19日(火) 9:30～16:00

(県内各所)

※会場によっては
交通の便を考慮し、
時間差を設け開催します。

※開会全体集会、教育フォーラム、分科会に会場参加される場合、または教育フォーラムへzoomで参加される場合は参加券が必要です。参加券は資料代として1000円で購入できます。

主催:「みんなで21世紀の未来をひらく教育のつどい—教育研究全国集会2025」実行委員会

教育のつどい事務局:東京都千代田区二番町12-1 全国教育文化会館内 TEL.03-5211-0123/FAX.03-5211-0124